

(様式1)

平成27年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 168	提案機関名 伊勢原市農業協同組合
要望問題名 鳥獣被害に遭い難い作物の選定について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 山間部の農地では有害鳥獣被害の拡大に伴い、農業者の高齢化もあり耕作を諦めてしまう傾向が多く見られます。 耕作放棄を少しでも食い止める為、鳥獣被害を受け難くなおかつ、高齢者でも栽培が容易であり、市場性（青果または加工原料としての販売）も望めるような作物の選定について取り組んでいただきたい。	
解決希望年限	<input type="radio"/> ① 1年以内 <input checked="" type="radio"/> ② 2～3年以内 <input type="radio"/> ③ 4～5年以内 <input type="radio"/> ④ 5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター <input type="checkbox"/> ②畜産技術センター <input type="checkbox"/> ③水産技術センター <input type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	北相地区事務所
対応区分	<input type="checkbox"/> ①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合)	北相地域特産品の高品質安定生産技術の開発		
対応の内容等	北相地区事務所では、鳥獣被害を受けにくい作目として、平成24年度にコンニャク及びトウガラシについて品種比較試験を実施しました。また、同じく鳥獣被害を受けにくい茶についても長年研究対象としていますので、それらについて情報を提供します。 一方、特産品の開発研究に際しては、鳥獣被害を受けにくい作物であることを考慮して試験を進めていますので、引き続きその点に留意して作物の選定、栽培技術の開発に取り組んでいきます。 また当所では、物理的な鳥獣害対策として電気柵の現場への導入を奨めていますので、併せて情報提供します。		
解決予定年限	<input type="radio"/> ① 1年以内 <input type="radio"/> ② 2～3年以内 <input checked="" type="radio"/> ③ 4～5年以内 <input type="radio"/> ④ 5～10年以内		
備考			